

令和3年11月1日(月)

文部科学省CBTシステム(MEXCBT : メクビット) の活用に関する説明会

文部科学省 総合教育政策局 教育DX推進室



文部科学省CBTシステム(MEXCBT：メクビット)の活用に関する説明会

内容

- (1) MEXCBT（機能拡充版）の概要および活用について
- (2) 学習eポータルについて
- (3) MEXCBT(機能拡充版)の申し込み手続き等について
- (4) 全国学力・学習状況調査のCBT化について
- (5) 地方自治体の学力調査等のCBT化検討の推進について

文部科学省CBTシステム(MEXCBT：メクビット)の活用に関する説明会

内容

- (1) MEXCBT（機能拡充版）の概要および活用について
- (2) 学習eポータルについて
- (3) MEXCBT(機能拡充版)の申し込み手続き等について
- (4) 全国学力・学習状況調査のCBT化について
- (5) 地方自治体の学力調査等のCBT化検討の推進について

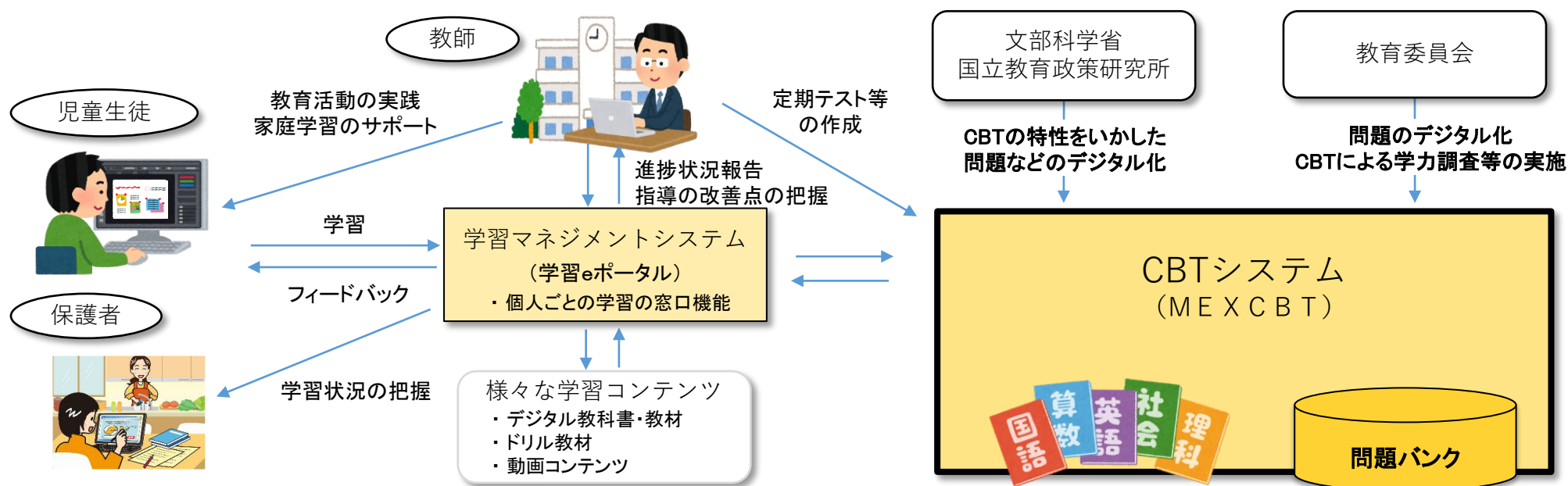


MEXCBT
メクビット

M E X T + C B T
文部科学省 Computer Based Testing

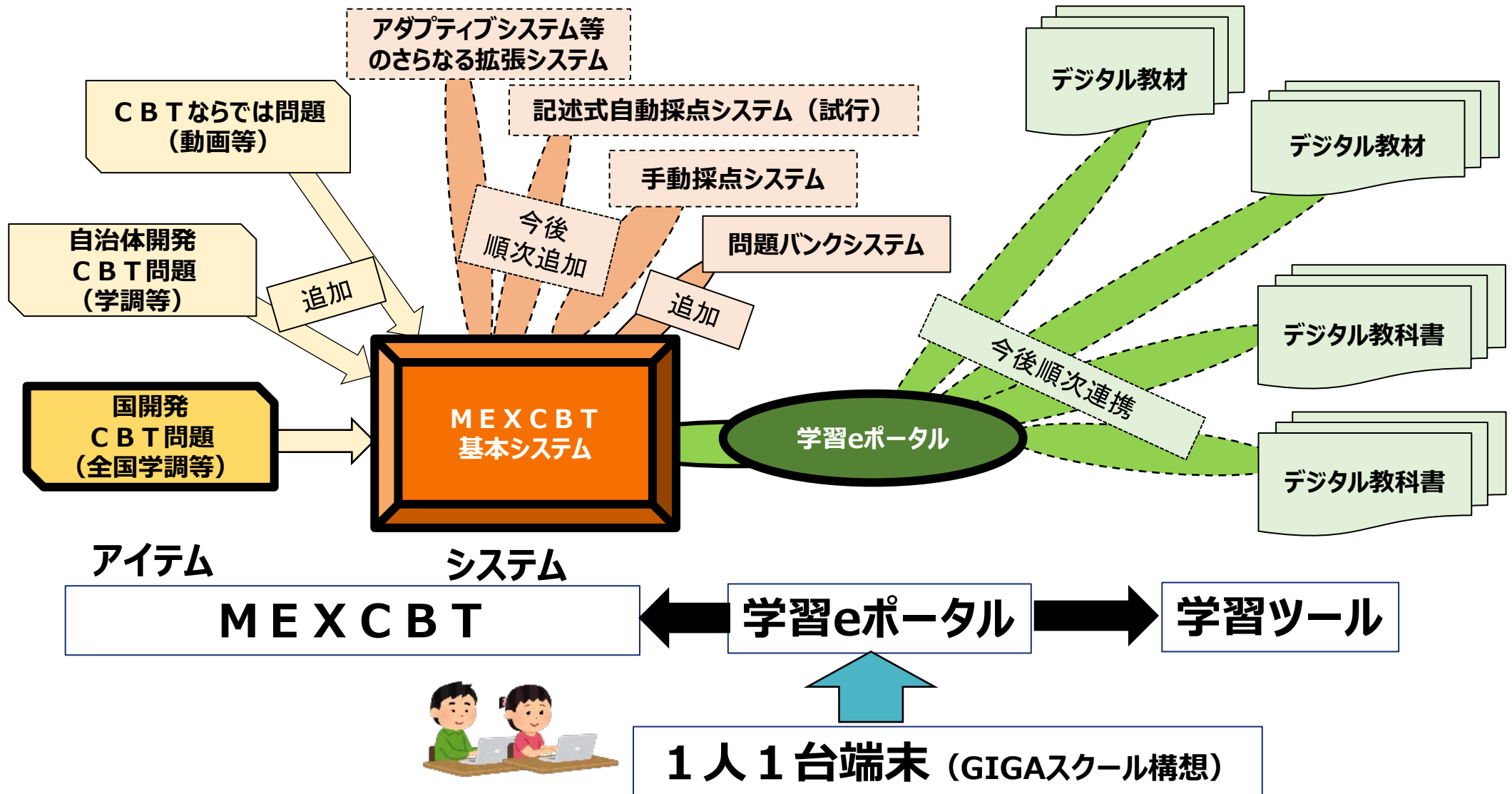
学びの保障オンライン学習システム（MEXCBT）とは

- 小・中・高等学校等の子供の学びの保障の観点から、**児童生徒が学校や家庭において、学習やアセスメントができるCBTシステム**
- **文部科学省が開発**（事業者連合体のコンソーシアムに委託）
- 国や地方自治体等の**公的機関等が作成した問題を活用可能**
- 「GIGAスクール構想」により実現する **「1人1台端末」を活用した「デジタルならではの」学び**を実現

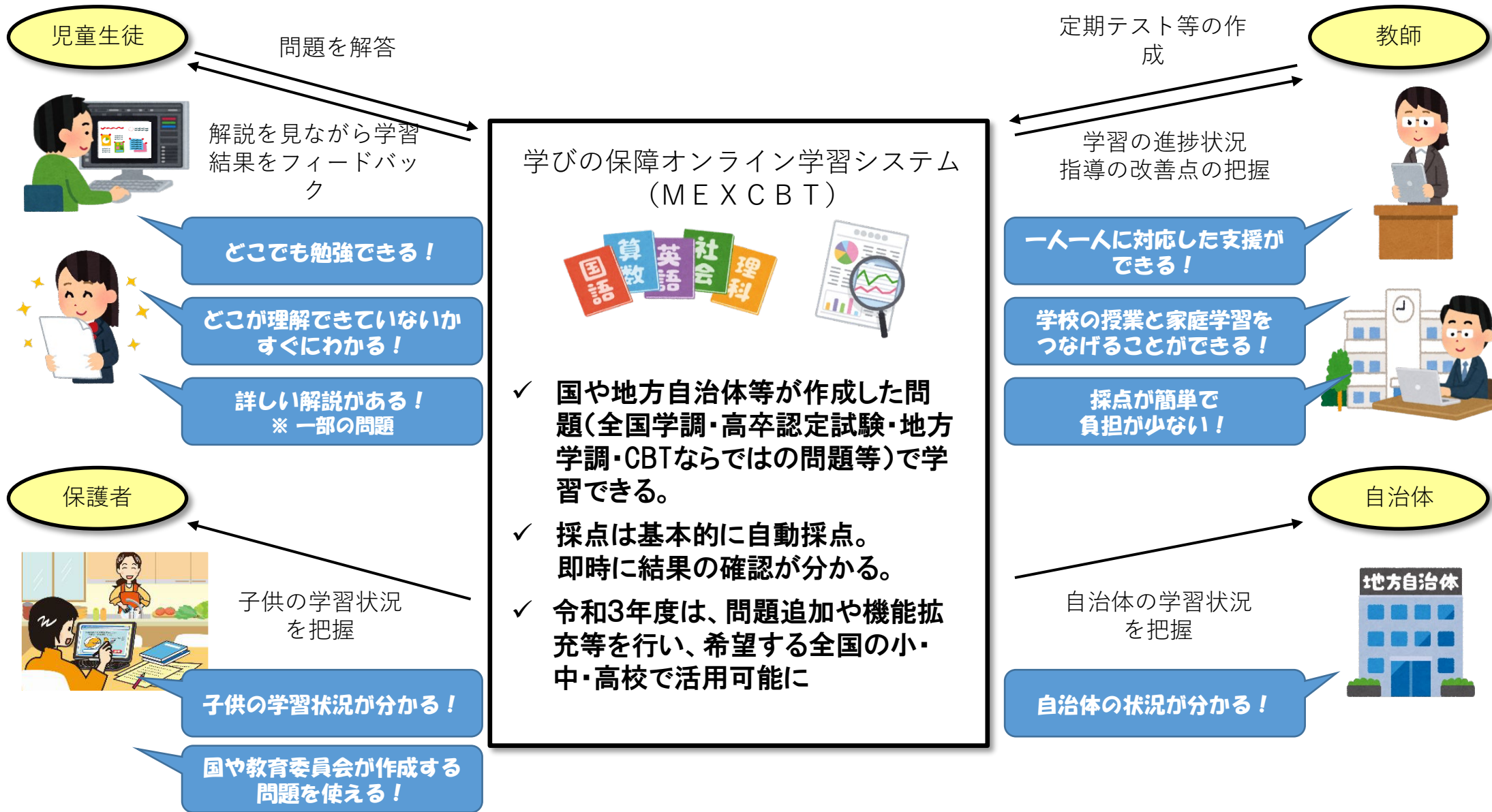


MEXCBTの基本的な考え方

- 公的なC B Tプラットフォームとして、デジタル学習の基盤的な仕組み
- 利活用者、事業者を超えて相互に利活用が可能な汎用的な仕組み
(国際標準規格等の汎用的な仕組みの導入)
→ 問題・データや知見等の相互利活用 (教育D X)



文科省CBTシステム (MEXCBT) 活用イメージ



MEXCBTの概要と活用の流れ

システム概要

【総論】

- 児童生徒が学習端末を用いてオンラインで問題演習等ができるシステム(問題やデータの相互運用が可能な国際標準規格に基づく汎用的なシステム)を開発

【活用方法】

- 通常活用している学習端末を用いて、家庭からでも学校からでもアクセスが可能
- 2通りの活用方法が可能

①一問一答形式

学年・教科を選び、一問一答形式で解答後に解説等が表示され学習する方式

②複数問題解答形式

学年等を選び、何問かの束で解答する方式



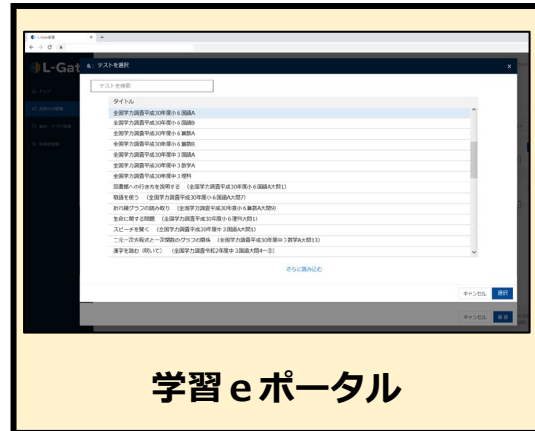
- 選択式問題や一部短答式問題は自動採点

【具体的な問題】

- 国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用(例)全国学力・学習状況調査問題、高等学校卒業程度認定試験問題、自治体独自の学力調査問題、動画等を活用した「CBTならではの」の問題など

活用の流れ

①問題を選ぶ

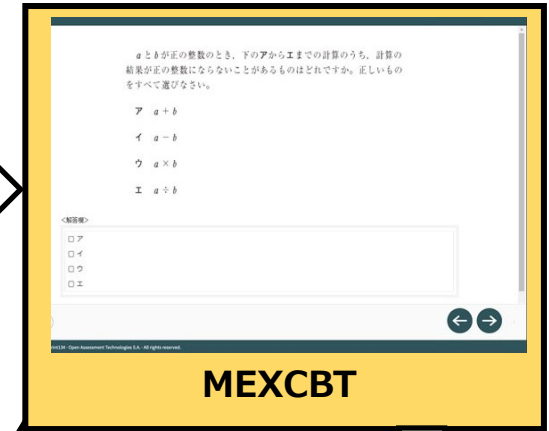


学習 e ポータル

教員



②問題を解いて学習する



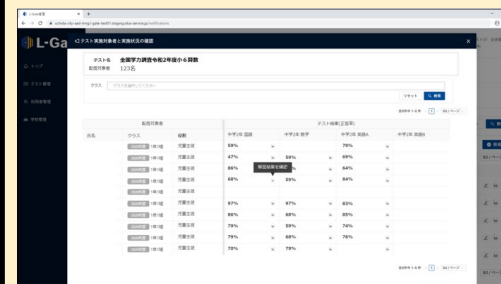
MEXCBT

児童生徒



③結果を確認する

クラス内の学習結果を確認



自分の学習結果を確認



学習 e ポータル

MEXCBTのプロトタイプの実証の状況

プロトタイプの実証

- ✓ 令和2年度にCBTシステムのプロトタイプを開発。
- ✓ プロトタイプには、国が作成した既存の問題(全国学力・学習状況調査問題や高等学校卒業程度認定試験問題など)をデジタル化して、約2000問を搭載。
- ✓ これまで延べ約14万人(令和2年度3万人、令和3年度11万人)の児童生徒が活用。

実証の様子

授業での
活用



七尾市立朝日小学校HPより抜粋

朝学習での
活用



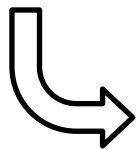
梶原町立梶原学園HPより抜粋

学習の様子



福島大学附属中学校HPより抜粋

MEXCBTを活用した現場からの声(一部抜粋)



MEXCBTは、授業中や放課後に活用したり、家庭学習(宿題)の際に活用したりした。

児童生徒は問題を解けば正答率が出るため、楽しそうに使っていた。今後も利用したい。

教員は配信するだけでテストを利用できるため、印刷や採点の手間が省け、業務効率が向上した。

MEXCBTの全体スケジュール

- 令和2年度からプロトタイプ（試行版）を開発
- 公的なC B Tプラットフォームとして、徐々にコンテンツや機能を拡充
- MEXCBT(機能拡充版)については、11月1日から利用申し込みを受け付け、11月下旬から、全国の希望する小中高校等での活用を順次開始

R2、R3前期
(プロトタイプ)

- 全国数百校で実証
- 2,000問搭載
(全国学調等)

R 3 後期
(機能拡充版)

- 希望する全国の学校で活用
- 約1万問搭載（年度内に2～3万問程度）
(全国学調+地方学調
+ C B Tならではの問題等)
- 機能拡充（年度内に順次機能追加）

R 4 ~

- 希望する全国の学校で活用
- さらに問題等を追加
- 全国学調C B T 試行調査等で活用
- 4月から通年で利用できるよう検討

MEXCBT（機能拡充版）に追加されるコンテンツについて

	プロトタイプ版 (令和2年度、令和3年7月～10月)	機能拡充版 (令和3年11月下旬～順次コンテンツを追加)
コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ●国が開発した学力調査等の問題 (全国学力調査の問題等、約2000問) ●テスト作成サイトにおける現場教員作成問題 	左記に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ●地方自治体等の学力調査等の問題 ●動画等を活用した「CBTならではの」問題 ●質問紙調査等の多様な形式 ●国が開発した学力調査等の問題の児童生徒向け解説(順次)

今年度新たに追加されるコンテンツ(11月下旬時点で合計約1万問、年度内に約2～3万問程度に拡充予定)
 ※11月下旬時点では掲載が完了しないものもありますが、コンテンツは順次追加します。

(地方自治体等の学力調査等の問題)【問題提供は引き続き募集】

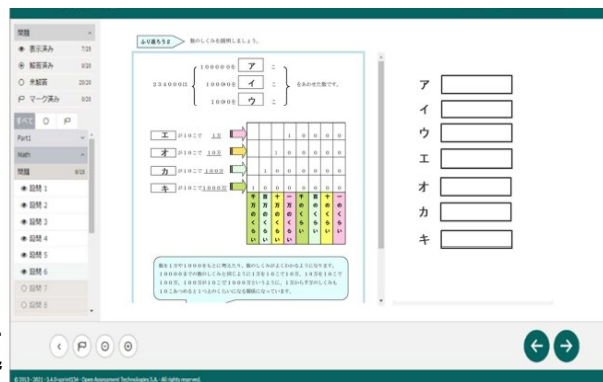
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
岩手県作成「岩手県学習定着度状況調査」「岩手県中学1年生英語確認調査」					○		○	○	
千葉県作成「ちばっ子チャレンジ100」「ちばのやる気学習ガイド」	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さいたま市作成「基礎学力定着プログラム」	○	○	○	○	○	○	○	○	○
幸手市作成「パワーアップシート及び確認テスト」				○	○	○	○	○	
山口県作成「やまぐち学習支援プログラム」					○		○	○	

(動画等を活用した「CBTならではの」問題)

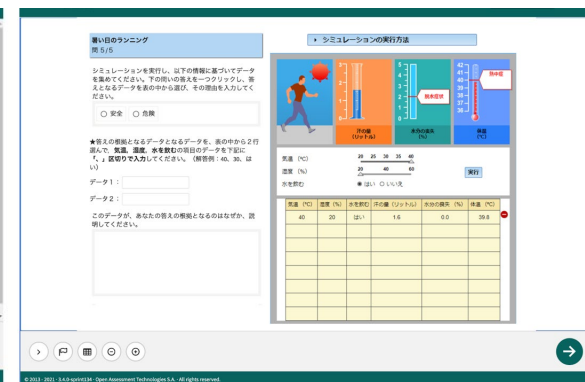
- ・PISA(国際学力調査)の公開問題
- ・理科における動画を活用した問題
- ・情報モラル教育推進コンテンツなど

(その他)

- ・英語検定、数学検定、漢字検定等の公開問題
- ・質問紙調査等の多様な形式の試行など



さいたま市作成「基礎学力定着プログラム」



PISA2015の公開問題
 ※システムの都合上、問題形式等を一部変更しています。

MEXCBT（機能拡充版）に追加される機能について

	プロトタイプ版 (令和2年度、令和3年7月～10月)	機能拡充版 (令和3年11月下旬～順次機能を追加)
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な問題処理システム (選択式問題や短答式問題を自動採点) 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロトタイプを踏まえた使い勝手の向上 (問題バンク、問題検索・選択の利便性向上、入力ツールの拡充) ● 問題配信等の自由度の拡大 (特定の問題を特定の自治体・学校に配信可能に) ● 記述式問題の採点システムの充実 (教員の手動採点を可能に。自動採点機能の試行)

今年度新たに追加される機能

※機能拡充は、11月下旬、来年1月、来年3月の3段階に分けて実施する予定であり、必要な機能改善は今後も順次実施する予定。

機能拡充時期	機能改善・拡充の見込み
11月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・問題検索・選択の利便性が向上 ・テスト実施支援機能(ラインマーカー等) ・実証用以外の学習eポータルとの接続も可能に
来年1月予定	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の問題を特定の自治体・学校に配信可能に ・テスト実施画面の見やすさの改善 ・数式入力支援ツールの実装 ・問題の複数同時配信が可能に(※)
来年3月予定	<ul style="list-style-type: none"> ・問題検索方法を拡充(問題一覧からの選択等) ・記述式問題に対する教員の手動採点が可能に(試行的に実施) ・問題のメタ情報登録や公開申請がシステムから可能に

(※)活用する学習eポータルによって開始時期が異なる可能性があります。

(問題検索画面)

問題検索

問題の種類 ※必須	全国学力調査過去問	形式 ※必須	<input checked="" type="radio"/> 複数問題形式 <input type="radio"/> 一問一答形式
学年	小学6年	教科	算数/数学
級			
タイトル	フリーワードで検索 例: 中3 英語		

リセット 検索

問題一覧

No.	タイトル	学年	教科	級	問題情報	解説情報	
1	全国学力調査令和2年度小6算数	小学6年	算数/数学		自	自	選択
2	全国学力調査平成31年度小6算数	小学6年	算数/数学		自	自	選択
3	全国学力調査平成30年度小6算数A	小学6年	算数/数学		自	自	選択
4	全国学力調査平成30年度小6算数B	小学6年	算数/数学		自	自	選択
5	全国学力調査平成29年度小6算数A	小学6年	算数/数学		自	自	選択

学習eポータル概要

◎日本の初等中等教育(学校教育)に適した共通に必要な学習管理機能を備えたソフトウェアシステム

①学習の窓口機能

多様な学習リソース(デジタル教科書・教材, 各種ツールなど)の互換性のあるデータを学習eポータルで一覧的に可視化して活用することができる機能(個別最適な学び・協働的な学びへとつながる)

②連携のハブ機能

シングルサインオン等のアクセスの容易化など、学習リソースの利活用の連携のハブとして機能

(活用者が便利になるとともに、デジタル教材等事業者が個々のソフトごとに連携する手間が省けて不要なコストがかからなくなる。)

③文科省システム(MEXCBT)のアクセス機能

文科省が運用する公的CBTプラットフォーム(MEXCBT)へアクセスする機能

機能の
考え方

協調領域

ツール間の相互互換性を担保するため、国際標準規格などの汎用的な定義を行い、各ツールとも実装

・学習ツール連携機能
・スタディログ受け取り機能

競争領域

協調領域以外の部分は、各社が創意工夫を行い独自に機能を実装

・ダッシュボード機能
・時間割・スケジュール機能 等

◎2020年度及び2021年度の文科省学びの保障オンライン学習システム開発事業における文科省CBTシステム(MEXCBT)のプロトタイプ開発において、窓口機能として学習eポータルを導入(約14万人の児童生徒が試行)

◎ICT CONNECT21において、事業者、研究者により、学習eポータルの標準モデルや技術規格などを検討し、2021年3月に公表(<https://ictconnect21.jp/document/eportal/#standard>)。これらを踏まえ、各社が学習eポータル標準に則った機能を実装。

◎学習eポータルは、2021年11月の時点では次の4つですが、今後さらに増えていくことが見込まれます。

- L-Gate(株式会社内田洋行)
- Open Platform for Education(OPE)(日本電気株式会社)
- まなびポケット(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)
- Studyplus for School(スタディプラス株式会社)

※なお、MEXCBTを活用する際には、オンライン学習システム推進コンソーシアムが提供する学習eポータルを活用することも可能です。

文部科学省CBTシステム(MEXCBT：メクビット)の活用に関する説明会

内容

- (1) MEXCBT（機能拡充版）の概要および活用について
- (2) 学習eポータルについて
- (3) MEXCBT(機能拡充版)の申し込み手続き等について
- (4) 全国学力・学習状況調査のCBT化について
- (5) 地方自治体の学力調査等のCBT化検討の推進について

MEXCBTの利用申請手続き

設置者からのお申込後、選択した学習eポータルの利用開始に伴う手続きについて、担当事業者、コンソーシアム等からご連絡します

MEXCBTの利用申請の流れ

申込フォームを
設置者が入力(11月1日～)
1次〆切：11月19日(金)
2次〆切：12月17日(金)

活用する学習eポータル
を選択

アカウント発行手続き等
※発行手続きの流れは、選択した学習e
ポータルによって異なる

MEXCBTの利用開始
(11月末～順次)
※利用開始日は、選択した学習eポ
ータルによって異なる

MEXCBTの利用申請イメージ

応募フォームから入力
(11月1日受付開始)

「利用の留意点」を確認のうえ、
設置者名
設置者連絡先
活用する学習eポータル
利用校名
利用校連絡先
利用校の学校コード
等を入力。

L-Gateを選択
した場合

アカウント発行手続き等

L-Gateを窓口に
MEXCBTを利用開始

Open Platform for
Educationを選択した
場合

アカウント発行手続き等

Open Platform for Education
を窓口に
MEXCBTを利用開始

まなびポケットを選択
した場合

アカウント発行手続き等

まなびポケットを窓口にMEXCBT
を利用開始

Studyplus for School
を選択した場合

アカウント発行手続き等

Studyplus for School
を窓口にMEXCBTを利用開始

実証用学習eポータルを
選択した場合

アカウント発行手続き等
※次ページ参照

実証用eポータルを窓口に
MEXCBTを利用開始

MEXCBT（機能拡充版）利用の流れ（※実証用学習eポータルを選択した場合の例）

利用申込

利用申込フォームから、設置者にて利用する学習eポータルを選択し、参加申込をしてください
※設置者にて利用を希望する学校の連絡先情報等を取りまとめて申込みいただきます
※MEXCBTがどのようなものか触れてみたいという学校設置者向けにお試しアカウントの発行が可能です
応募フォーム①【設置者】より、学校コード「999」、学校名「試用アカウント希望」と入力ください



利用開始 手続き※

事務局より学校担当者宛に、学校毎に利用するアカウント数等の確認を行います
※設置者からの申込受領後、登録いただいた学校担当者情報を基に、事務局からご連絡をします



アカウント 通知※

事務局にてアカウント発行作業を行い、学校、設置者宛に通知します
※アカウントの発行は、利用開始手続き完了後、2週間程度でメールにてご連絡します



アカウント 配布※

教員、児童生徒へのアカウントの割当を校内で調整の上、利用者に配布（通知）します
※アカウントの配布時には、運用支援サイトに掲載している「児童生徒用簡易マニュアル」等もあわせてご利用ください



問題配信

教員は、学習eポータルにログインして、児童生徒に問題を配信します
※問題の配信は「学びの保障オンライン学習システム(MEXCBT)運用マニュアル」第3章参照



問題への解答

児童生徒は、学習eポータルにログインして、配信された問題に解答します
※問題の解答は、「学びの保障オンライン学習システム(MEXCBT)運用マニュアル」第4章参照
※問題の解答画面が、MEXCBTになります。MEXCBTへの接続は学習eポータルからのみ可能です

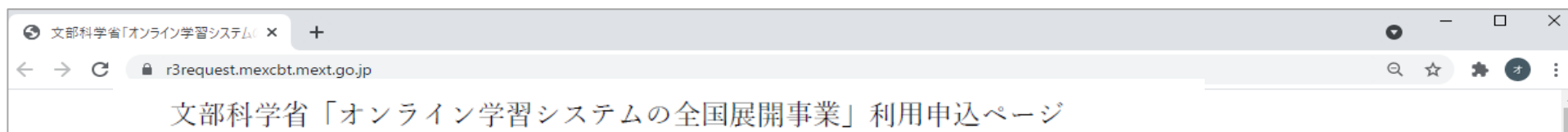


結果確認

教員、児童生徒は、学習eポータルから、解答結果や解答状況を確認します
※結果の確認は、「学びの保障オンライン学習システム(MEXCBT)運用マニュアル」第5章、第6章参照



※利用開始に伴う手続き～アカウント配布は、選択した学習eポータルにより異なります。上記は実証用学習eポータルを選択した場合の例です。



必ず利用申込画面の<留意事項>をよくお読みいただいたうえでお申し込みください

<留意事項> ※詳細は利用申込ページを参照ください

- 利用申込時の入力方法について
- 利用申込時の登録情報について
- MEXCBTにおける情報の取扱いについて
- テスト作成サイト（試行版）の利用について
- 令和3年度上半期（プロトタイプ版）MEXCBTの実証に参加されていた場合

<利用申込に必要な情報> ※利用を希望する学校は設置者にご相談のうえ、設置者から利用申込を行ってください

- ① 設置者情報（設置者名、担当者連絡先等）
- ② 利用する学習eポータル（4社+実証用学習eポータルから選択）
- ③ 問題作成サイトの利用希望有無の選択（希望する自治体ごとにアカウントを発行します）
- ④ 学校情報（文部科学省学校コード、学校種、学校名、学校担当者連絡先、②で選択した学習eポータルの導入状況等）

設置者(教育委員会等)の方へ

留意事項をご確認のうえ、次のフォームから管下の利用校について、学校コード、校種、学校名、学校担当者情報等を登録ください。登録校数が11校以上の場合はエクセルファイルをダウンロードし、入力の上、利用申込ページから登録をお願いします。

利用申込 **【設置者】**

[※エクセルファイル \(11校以上\)](#)

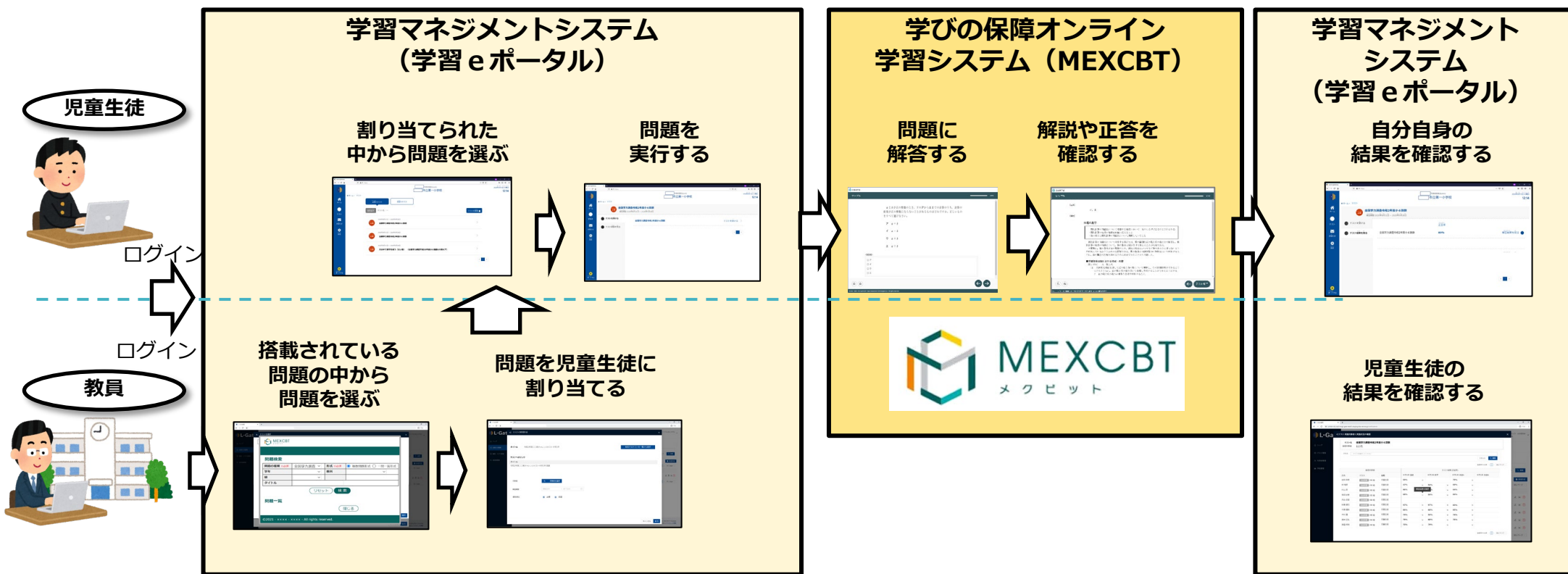
ダウンロード

<留意事項> 本申込をもって以下の事項に同意いただいたこととします

- 利用申込時の入力方法について



MEXCBT利用の流れ（問題配信から結果確認まで）



- 児童生徒1人につき、1つのアカウントを用いて、学校、家庭を問わず、事前に登録された問題を児童生徒がオンライン解答することができます。また、多肢選択式及び完全一致式の問題は、即時に自動採点され、結果が表示されます。

※ 令和3年11月時点では、全国学力・学習状況調査の過去問題、中学校卒業程度認定試験、高等学校卒業程度認定試験の過去問題など、国が開発した問題に加え、地方自治体から提供された問題、PISAの公開問題等が搭載されています。

※ 児童生徒向けの解説がある問題もあります。

- MEXCBTは、設置者、学校、利用者とも無償で活用することが可能です。
- 授業において活用してもらうことや、宿題として家庭学習において活用してもらうことを想定しています。
- 解答結果については、「学習マネジメントシステム（学習eポータル）」上で確認することができます。

テストを選択



問題検索

問題の種類 <small>※必須</small>	全国学力調査過去問	形式 <small>※必須</small>	<input checked="" type="radio"/> 複数問題形式 <input type="radio"/> 一問一答形式
学年		教科	算数/数学
級			
タイトル	フリーワードで検索 例：中3 英語		

リセット

検索

問題一覧

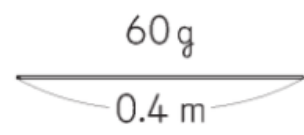
No.	タイトル	学年	教科	級	問題情報	解説情報	
1	[D] 全国学力調査 中3数学	中学3年	算数/数学				選択
2	[H] 全国学力調査 中3数学	中学3年	算数/数学				選択

問題	^
表示済み	1/16
解答済み	0/14
未解答	14/14
マーク済み	0/14

すべて

Questions	^
問題	1/15
<input checked="" type="radio"/> 針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを	
<input type="radio"/> 針金0.4mと、0.4mの重さの60gと	
<input type="radio"/> 針金1mの重さを求める式を選ぶ (全国学力)	
<input type="radio"/> 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を	
<input type="radio"/> 3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に	
<input type="radio"/> 面積がそろっている②と④の二つのシートの	
<input type="radio"/> 二つのシートの混み具合を比べる式の意味に	
<input type="radio"/> 角いの角の大きさが、何度であるかを選ぶ (
<input type="radio"/> 分度器の目盛りを読み、 180° よりも大き	
<input type="radio"/> 空間の中にあるものの位置を正しく書く (全	
<input type="radio"/> 円周率を求める式として正しいものを選ぶ (
<input type="radio"/> 円の直径の長さが2倍になったとき、円周の	

0.4 mの重さが60gの針金があります。
この針金について、次の問題に答えましょう。



針金0.2 mの重さは何gですか。また、針金0.1 mの重さは何gですか。
それぞれ答えを書きましょう。

<解答欄>

0.2mの重さ g

0.1mの重さ g



現在の得点状況：19問中9問に正解しています。（現在の得点状況には、自動採点の対象となっている問題だけが含まれています。）

テストを終了するときは、右下にある「テスト終了」ボタンをクリックしてください。
「テスト終了」ボタンを押さずにテストを終了すると、結果が記録されないので注意してください。

正解

第1問

0.2mの重さ 30 g

0.1mの重さ 15 g

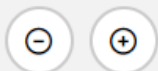
第2問

0.4の場所 エ

60の場所 ア

□の場所 イ

第3問



終了

ホーム > テスト > テスト詳細ページ



2021年10月26日 ~ 2021年11月30日

□全国学力調査平成30年度小6算数A

テストを受ける

テスト結果を見る

正答率

全国学力調査平成30年度小6算数A

47%

くわしく見る >



ホーム



教材・アプリ



お知らせ



テスト



MEXCBTテスト

スコア 47%

すべて 間違い

Questions ^

問題 ^

✓ 針金 0.2 m の重さと針金... 2/2

✗ 針金 0.4 m と、0.4 m ... 1/3

✗ 針金 1 m の重さを求める式... 0/1

✗ 答えが $12 \div 0.8$ の式で... 0/1

✓ 3桁の整数どうしの大きさ... 1/1

✓ 面積がそろっている①と②... 1/1

✗ 二つのシートの混み具合を... 0/1

✓ 角いの角の大きさが、何度... 1/1

✓ 分度器の目盛りを読み、1... 1/1

✗ 空間の中にあるものの位置... 0/3

✓ 円周率を求める式として正... 1/1

✗ 円の直径の長さが2倍にな... 0/1

✓ 200人のうち80人が小... 1/1

✗ 示された事柄が両方当ては... 0/1

← 解答
トータル 9/19

< 次へ >

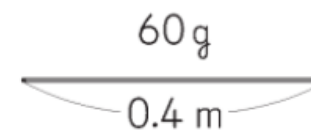


解答内容

正解

このページのスコア 0/1

0.4 m の重さが 60g の針金^{はりかね}があります。
この針金について、次の問題に答えましょう。



針金 1 m の重さを求める式を、下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 $60 + 0.6$

2 60×0.4

3 $60 \div 0.4$

4 $0.4 \div 60$

<解答欄>

1 2 3 4

◀ テスト配信対象者と実施状況の確認

テスト名

□ 全国学力調査平成30年度小6算数A

配信対象者

1名

クラス

2021年度

クラスを選択してください

役割

役割を選択してください

リセット

検索

全1件中 1-1 件 < 1 > 50 / ページ

配信対象者				テスト結果 (正答率)
ユーザーID	氏名	クラス名	役割	
mexcbt002@tao-test01.local	児童生徒 0001	2021年度 6年1組	児童生徒	47%

全1件中 1-1 件 < 1 > 50 / ページ

キャンセル

★小6国語_オムライスの作り方を調べる (全国学力調査平成30年度小6国語(本題))

● 必修

● 解答期間中

2021/10/27 01:50 から
2021/10/31 23:59 まで

● 解答なし

● 利用

スコア 47%

すべて 間違い

Questions ^

問題 ^

✓ 針金 0.2 m の重さと針金... 2/2

✗ 針金 0.4 m と、0.4 m... 1/3

✗ 針金 1 m の重さを求める式... 0/1

✗ 答えが $12 \div 0.8$ の式で... 0/1

✓ 3桁の整数どうしの大きさ... 1/1

✓ 面積がそろっている①と②... 1/1

✗ 二つのシートの混み具合を... 0/1

✓ 角いの角の大きさが、何度... 1/1

✓ 分度器の目盛りを読み、1... 1/1

✗ 空間の中にあるものの位置... 0/3

✓ 円周率を求める式として正... 1/1

✗ 円の直径の長さが2倍にな... 0/1

✓ 200人のうち80人が小... 1/1

✗ 示された事柄が両方当ては... 0/1

← 解答欄

トータル 9/19

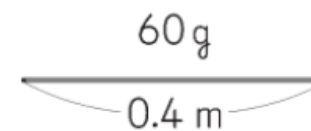


解答内容

正解

このページのスコア 0/1

0.4 m の重さが 60g の針金があります。
この針金について、次の問題に答えましょう。



針金 1 m の重さを求める式を、下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 $60 + 0.6$

2 60×0.4

3 $60 \div 0.4$

4 $0.4 \div 60$

<解答欄>

1 2 3 4

< 次へ >

独自問題の作成 テスト作成サイト（試行版）の利用について

テスト作成サイトでは、MEXCBTに搭載するための独自問題を作成することが可能です

※設置者による問題作成を想定していますが、各校の教員が利用することも可能です

The screenshot displays the MEXCBT Test Creation Site interface. The main content area shows a question editor with a progress bar and a list of options. The left sidebar contains various interaction tools like '選択' (Select), '関連' (Associate), 'スライダー' (Slider), and 'アップローダー' (Uploader). The right sidebar shows item properties like '識別子' (ID), 'タイトル' (Title), '言語' (Language), and '学生ツール' (Student Tools).

MEXCBT利用申込時に
テスト作成サイト利用希望有無を入力

利用を希望した設置者向けに
テスト作成サイト用アカウントを
発行・通知

※学校担当者がテスト作成サイトの利用を希望する
場合は設置者からアカウントを貸与

テスト作成サイトで問題を作成

事務局宛に問題の公開申請

MEXCBTへ公開後、配信・利用可能

- 独自問題については、内容の確認、著作権の処理等について適切に行ったうえで、公開申請をしてください。
- 公開申請の手続きについては、運用支援サイトに掲載します。システム内で公開申請を行うよう変更となる予定（令和4年3月予定）ですが、当面はメールにて申請いただきます。
- 作成した問題は、今後の機能拡充で公開範囲の制御が可能となる予定（令和4年1月予定）です。それまでは、MEXCBTに公開した独自問題は、MEXCBTを利用するすべての学校で参照・利用可能となります。

運用サポートについて

学びの保障
オンライン学習システム
MEXCBT
運用支援サイト

メンテナンス情報
- 2021.12.01 定期メンテナンスを22年1月1日0時より行います。 > 履歴

問題一覧 よくある質問 マニュアル・資料
テスト公開申請 お問い合わせ

お知らせ
- 2021.11.29 MEXCBT (機能拡充版) の運用支援サイトは11月末から利用可能予定
何かわからないことがありますか？
ここから質問ください。

11/29(月)より、MEXCBT(機能拡充版)に対応した運用支援サイトを開設します。ご活用ください。

- ◆ 搭載している問題種別の一覧を掲載しています
- ◆ よくある質問、マニュアル、資料を掲載しています
- ◆ チャットボットによる24時間問合せ対応が可能です
- ◆ 有人チャット、電話による問合せも可能です (平日9時-17時)
- ◆ 各学習eポータルに関する問合せ先も掲載する予定です

チャットボット
有人チャット対応

MEXCBTお問合せ窓口

こんにちは。MEXCBT (メクビット) のお問合せチャットボットです。
以下からご質問のカテゴリを選択するか、ご質問を直接入力してください。
直接入力される際は、ご質問やお困りのことを具体的に、文章形式で入力していただくとよりお答えしやすくなります。

例えばこのように聞いてみてください。
【よくある質問】
・作成した問題を配信するにはどうすれば良いか
・実証期間はいつまでか

MEXCBT(プロトタイプ版) について
MEXCBT(機能拡充版) について

10/27 01:20

Powered by OfficeBot

メッセージを入力...

【運用支援サイト】

以下のURLもしくは二次元バーコードからご利用ください。

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp>



【問合せ窓口】

オンライン学習システム推進コンソーシアム
(事務局：株式会社内田洋行 教育総合研究所)

E-mail : mexcbt-info@uchida.co.jp

Tel : MEXCBTコールセンター

03-5541-1301 平日9時-17時

事前質問等への回答①

Q MEXCBTは無償で活用できますか。

➤ 全国の学校設置者・学校で無償で活用できます。来年度は概算要求中ですが無償で活用とする予定です。

Q MEXCBTと学習eポータルはどのような関係ですか。

➤ MEXCBTと学習eポータルは以下のように役割分担して全国の学校でC B Tが実現できるようにしています。

◆**学習eポータル：児童生徒の学習の窓口機能**

個人ごとの学習の記録等を表示する等の機能をもっています。問題の選択や、回答結果の表示等が可能です。

今後、デジタル教科書・教材等が学習eポータルに準拠され、学習状況の把握や振り返りできるようになる見込みです。

◆**MEXCBT：問題出題・処理の機能**

問題を管理し、学習eポータルからのリクエストに基づき、出題して、採点処理等に特化しているシステムです。

Q 学習eポータルの選択肢は今後も4ツール（実証用を含めると5ツール）だけですか。

➤ 2021年11月の時点では4ツール（実証用含めると5ツール）ですが、標準モデルは公開されており、今後各社が機能を実装することでさらに選択肢が増えることが見込まれます。

MEXCBTの利用申請の流れ

応募フォームを
設置者が入力(11月1日～)
1次×切：11月19日(金)
2次×切：12月17日(金)

活用する学習eポータル
を選択

アカウント発行手続き等
※発行手続きの流れは、選択した学
習eポータルによって異なる

MEXCBTの利用開始
(11月末～順次)
※利用開始日は、選択した学習e
ポータルによって異なる

事前質問等への回答②

Q 利用の申し込みは学校単位・設置者単位のどちらで行いますか。

- まず利用申し込みフォームから、設置者においてとりまとめて申し込みいただきます。その後の手続き等は選択した学習eポータルによって異なります。

Q MEXCBTの利用の申し込みの締め切りはいつですか。

- 1次締切が11月19日（金）、2次締切が12月17日（金）です。11月末から順次利用開始できるようになる予定であり、1次締切だと年内、2次締切だと年明けを目途に活用できる見込みです。なお、利用開始日は選択した学習eポータルによって異なります。

Q 学習eポータルの導入費用はどうなりますか。

- 学習eポータルにより導入費用等が異なります。無償のもの、有償のもの、機能により有償オプションとなるもの等があり、詳細は各学習eポータル事業者にご確認ください。また、文部科学省がMEXCBTの開発を委託する「オンライン学習システム推進コンソーシアム」が提供する実証用の学習eポータルはシングルサインオンはできず、MEXCBTに接続する機能のみである等、機能は限定的となりますが無償です。

Q 学習eポータルは、教育委員会単位で1つしか選べないのですか。(学校単位で別々にできないのですか。)

- 今後の教育データ利活用等を見据えると、教育委員会単位など一定の規模ごとに1つの学習eポータルを使用することが便利であると想定しています。今後の学習eポータルの活用単位はさらに検討が必要ですが、今回のMEXCBT事業においては、選択の単位を各学校設置者の学校種ごとを基本としています。例えばある設置者が、小中学校ともに同じ学習eポータルを活用する場合や、小学校と中学校で異なる学習eポータルを活用する場合などが考えられます。それ以外の場合は個別にオンライン学習システム推進コンソーシアム事務局に御相談ください。

Q これまでプロトタイプ版のMEXCBTの実証に参加していた場合も再度申し込みは必要ですか。

- 今回の11月下旬開始のMEXCBTは、これまでのプロトタイプ版のMEXCBTとは別であり、これまでの実証に参加いただいても申込が必要となります。実証用学習eポータルを継続して利用する場合も再度申し込みが必要となりますが、同じID・パスワードでご利用いただけます。

事前質問等への回答③

Q 既に4つの学習eポータル of どれかを導入している場合、MEXCBT利用に新たなアカウント発行等は必要ですか。

- 既に各社の学習eポータルを利用している場合も、設置者によるMEXCBT利用申し込みフォームへの入力が必要となります。利用申し込みフォーム入力後の手続きの詳細は学習eポータル各社にお問合せ下さい。

Q MEXCBTの申し込みは、自治体内の全学校や、学校全体の活用を前提としているのですか。又は、特定の学校や学年のみの活用でも申込可能ですか。

- 自治体内の特定の学校のみ、又は、学校内でも特定の学年や特定のクラスのみでの活用でも申込可能です。

Q MEXCBTの利用にあたり、利用回数のノルマ等がありますか。

- MEXCBTの利用回数のノルマ等はありません。なお、利用後の感想のアンケートを実施しますのでご協力ください。

Q MEXCBTの利用できる対応ブラウザは何ですか。

- MEXCBTの対応ブラウザは、以下となります。このほか、学習eポータルにより対応しているブラウザが異なる可能性がありますので、詳細は学習eポータル各社にお問合せ下さい。

【MEXCBTの対応ブラウザ】

「Microsoft Edge」、「Apple Safari」、「Google Chrome」のいずれかの最新バージョンのブラウザをご利用ください。

『Microsoft Internet Explorer11』、『Mozilla Firefox』は非対応となっています。

Q MEXCBTを活用する際の、児童生徒の個人情報の取り扱いはどうなっていますか。

- MEXCBTは、児童生徒の氏名等の個人情報は扱いません。詳細は、利用申込フォームの「<留意事項> ●MEXCBTにおける情報の取扱いについて」をご参照ください。

Q 設置者等が活用できる試用アカウントは発行可能ですか。

- 実証用学習eポータルを経由してMEXCBTを試用いただくことが可能です。試用アカウントについては、利用申込フォームから、学校コードを「999」、学校名を「試用アカウント希望」と入力してください。

Q 令和4年度の申し込み方法等は決まっていますか。

- 令和4年度のMEXCBTを活用する場合の申込みは検討中です。確定次第、ご案内します。

文部科学省CBTシステム(MEXCBT：メクビット)の活用に関する説明会

内容

- (1) MEXCBT（機能拡充版）の概要および活用について
- (2) 学習eポータルについて
- (3) MEXCBT(機能拡充版)の申し込み手続き等について
- (4) 全国学力・学習状況調査のCBT化について
- (5) 地方自治体の学力調査等のCBT化検討の推進について

目的・開催経過等

GIGAスクール構想の推進やPISA等の国際学力調査のCBTによる実施の流れなどを踏まえ、全国学力・学習状況調査のCBT化に向け、関係分野の専門家（教育測定学、教育社会学、教科指導、特別支援教育等）により、専門的・技術的観点から検討。
 （令和2年5月から11回にわたり開催）

全国学力・学習状況調査の目的・役割（「専門家会議」提言）

WG「中間まとめ」（令和2年8月）における、「調査の目的と実施方法等は表裏一体の関係」であり、「全国学力・学習状況調査の在り方として総合的に検討を行う必要がある」との指摘を踏まえ、WGの親会議である「専門家会議」において、今後の全国学力・学習状況調査の目的や在り方について議論・整理。

【概要】

- 本体調査（悉皆調査）と補完調査（経年変化分析調査（保護者調査含む））を国が実施すべき主要な調査の「2本柱」として位置づけ直し、適切に役割分担を図る。
 - ① 悉皆調査 ※毎年実施
 地方自治体や学校に対して学習指導要領の理念や目標、内容等を具体的に示し、個々の児童生徒の学習指導の改善や教育施策の検証・改善に活用
 - ② 経年調査（抽出） ※3年に1度程度実施
全国的な学力の状況について経年の変化を正確に把握・分析し、国の政策に活用
- 各調査の目的に即して、最適な方法を設計し、CBT化することが必要。



「最終まとめ」のポイント

- ◎ 令和3年度以降、試行・検証により課題の抽出とその解決を繰り返し、段階的に規模・内容を拡充させながらCBT化の実現に着実につなげること。
- ◎ 全国学力・学習状況調査について、令和6年度から順次CBTを導入すること。
- ◎ CBTへの移行と安定的な事業運営のため、国立教育政策研究所の体制強化が必要。
- ◎ 学校での円滑な実施に向け、技術面から各学校・教職員のサポート（マニュアル等の作成やトラブルへの対処方法を学ぶ機会を設けるなど）が必要。
- ◎ 政府全体でデジタル化が推進されており、将来的な技術発展も踏まえ、CBTをより効率的に実施するためのネットワーク環境の整備が推進されることを強く期待。

①悉皆調査

- 現行の全国同日一斉実施方式について、実施日程の柔軟性の確保や、ネットワーク等の 技術的課題の観点から、測定技術の発展も踏まえ、一定期間内（複数日に分散）での実施に見直すことが適当
- 調査の各回で比較可能な問題セットを複数用意（IRT（項目反応理論）採用）
- 児童生徒質問紙調査は、令和6年度を目途にオンラインによる回答方式を全面導入
- 教科調査については、端末操作の熟達の程度や実施体制の準備の観点等を踏まえ、中学校から先行し、令和7年度以降できるだけ速やかに導入（※）

②経年調査

- まずは現行の調査設計（IRT採用）を基本とし次回予定の令和6年度から導入（※）
- さらに効率的な測定方法について、専門的・技術的な検討を進めることを期待

（※）PBTを経過的に併用

<総論>

(1) 段階的な試行・検証の必要性

課題の抽出とその解決を繰り返しつつ、段階的にその規模・内容を拡充しながら全国レベルでの実施に向けて取り組むことが必要。

(2) 端末による学習環境への習熟と発達段階等への考慮

児童生徒の学力を的確に測るためには、児童生徒が端末を用いた学習に習熟し、端末を用いた調査にも違和感なく取り組めるようになることが重要。

(3) CBT化による学校現場への負担の考慮

学校の端末等から国のCBTシステムまでを円滑に接続できる環境の整備・検証や、調査実施前における各端末の動作確認や不具合等の現場での対応等、現場への負担をできる限り軽くすることなどについて十分な配慮や技術面での支援体制が必要。

(4) 詳細な調査設計の検討の必要性

調査の目的を踏まえ、問題作成及び結果分析の在り方等をはじめ、幅広い知見を有効に生かし、詳細に検討する必要。試行・検証を通じて判明した課題等も踏まえ、専門家等で検討し、設計内容の改善を重ねていく必要。

(5) CBT化に向けた体制整備の必要性

CBT化に向けて、テスト理論やデータ分析に精通している人材を確保し積極的に活用。国立教育政策研究所において「教育データサイエンスセンター」の新設（令和3年10月予定）が予定されているが、今後、さらなる体制強化が必要。

<各論>

(1) 日々の学習におけるICTの活用と全国的な学力調査との関係

児童生徒や教師が日常的にICT機器を使用した学習に慣れていることが重要。測りたい学力と児童生徒の端末の操作等の関係について、継続的に把握・分析していくことが必要。

(2) CBTの利点を活かした学力調査の在り方

①調査日程・期間

- ・ 悉皆調査について、調査目的や実施日程の柔軟性の確保等を踏まえ、現在の同日一斉実施を見直し、一定期間内（複数日に分散）実施が適当。
- ・ 経年調査について、CBT化を進めるための要件をより多く備えていると考えられることから、現行の調査設計（※）を基本として具体的な作業を進める。

（※）重複テスト分冊方式等

②調査問題

- ・ 悉皆調査について、項目反応理論（IRT）を採用した比較可能な問題セットを複数用意する必要。
- ・ 悉皆調査の問題については、CBT化に伴い一部非公開としつつ、教育指導等に関するメッセージ性を強く持った問題は公開するといった問題構成の工夫が必要。
- ・ 記述式問題については、CBTにおいても引き続き出題。端末操作や解答時間等について、試行・検証を通じて実証的に確認していく必要。

③項目反応理論（IRT）

- ・ 悉皆調査について、一定期間内（複数日に分散）での実施を可能とするため、IRTの採用が必要。まずは分冊方式から採用することが適当。
- ・ 経年調査については、すでにIRTを採用。将来的には、さらに効率的な測定方法について、国際調査における取組も参考にしつつ、専門的・技術的検討を進める。
- ・ IRTの採用にあたっては、問題漏洩への対応が必要。

(2) CBTの利点を活かした学力調査の在り方

④結果提供・解答データの取扱い

- ・ 悉皆調査については、調査目的を踏まえて、一定数の問題公表を行うことを前提に検討。
- ・ 解答に加えてログも活用することで児童生徒のつまずきなどの多面的な分析が可能。
- ・ 解答データなどの取扱いやセキュリティについても十分に検討しておく必要。

⑤特別な配慮が必要な児童生徒への対応

- ・ 特別な配慮を必要とする児童生徒が全ての学級に在籍することを前提として検討。
- ・ アクセシビリティ機能（音声読み上げ、配色の変更、文字等の拡大・縮小等）を活用し、可能な限り合理的な配慮を行い、対応できるようにする必要。
- ・ 多様な特性を有する児童生徒に対応できるよう、出題・解答面での工夫について検討。

(3) CBT特有の課題・論点

①問題作成の体制や工程

- ・ 悉皆調査の作問について、大学や教育委員会等との連携を視野に入れつつ、合理的な工程の在り方を検討する必要。
- ・ 経年調査について、現在のPBTの調査問題とCBT化した場合の調査問題との同等性・継続性の観点から精査を行いながら、CBT化に向けた取組を進めることが必要。
- ・ テスト理論やデータ分析に精通している人材を配置し、問題項目の選択等の検討・実施体制の強化、問題の質の保証と技術的な支援を行う体制の整備が不可欠。

②調査資材の印刷、配送・回収、採点、集計、分析等、現在の一連の工程の効率化

- ・ CBT化により調査資材の印刷、配送・回収に係るコスト低減・準備期間の短縮が期待される。
- ・ 記述式問題の自動採点技術について、将来的な実装を見据えて継続的に研究に取り組む必要。
- ・ CBT化により速やかな結果返却が可能となり、早期の指導改善等への活用に繋がる。

③学校現場における円滑な実施

- ・ 準備から調査終了に至るまで、学校現場が円滑に実施できるよう十分な配慮とサポートが必要。

(4) 実施体制等

①CBTシステムの開発（業務管理、採点、集計・分析、問題バンクなど）

- ・ CBTシステムには大規模調査特有の機能（監督機能等）を搭載する必要。継続的なシステム運用が不可欠であり、CBTシステム・MEXCBTの運用と合わせて検討。
- ・ 地方自治体が独自に実施する学力調査について、システムについてはMEXCBTを活用できるようにするなど、一定の連携を図ることについて検討。

②試行・検証、予備調査、試行等を含めたスケジュールや具体的な進め方

- ・ 技術の進展状況も踏まえつつ、試行・検証を積み重ねる中で新たなニーズの把握や軌道修正等も行いながら構築することが重要。

「工程に関する考え方」

- ・ 全国学力・学習状況調査のCBTは、令和6年度予定の経年調査から順次導入。（※）
経年調査と同時期を目途に児童生徒質問紙調査はオンラインによる回答方式を全面導入。
- ・ 悉皆調査の教科調査は、令和7年度以降できるだけ速やかに中学校から先行導入し、それ以降、できるだけ速やかに小学校に導入。（※）（※）PBTと経過的に併用
- ・ 目標時期や手順等は、技術発展の状況や試行・検証結果等を踏まえて変更もあり得る。
- ・ 今後、本WGにおいて、試行・検証や調査研究の状況等を聴取しつつ、工程を進捗管理。

◎政府全体でデジタル化が推進されており、将来的な技術発展も踏まえ、CBTをより効率的に実施するためのネットワーク環境の整備が推進されることを強く期待。

背景

- GIGAスクール構想の推進やPISA等の国際学力調査のCBT※による実施の流れなどを踏まえ、全国学力・学習状況調査のCBT化について、「全国的な学力調査のCBT化検討WG」において、専門的・技術的観点から検討を行い、令和3年7月に「最終まとめ」。
- 本「最終まとめ」において示された「工程に関する考え方」を踏まえ、令和6年度からの順次CBTの導入に向けて、令和3年度以降、試行・検証により課題の抽出とその解決を繰り返し、段階的に規模・内容を拡充させながら、着実に実現へつなげる。

※ CBT(Computer Based Testing) : コンピュータ使用型調査 (PISAは2015年調査よりCBTへ移行。TIMSSは2023年調査で全面移行予定)

事業内容

○試行・検証 文部科学省: 令和4年度要求・要望額 226百万円
(前年度予算額 50百万円)

WG「最終まとめ」や令和3年度の学校単位での試行・検証(※)の結果等を踏まえつつ、規模・内容を拡充し、自治体単位で試行・検証を実施。

(※)令和3年度試行・検証: 小中学校100校程度(約1万人の児童生徒)を対象に、学校単位で実施。

<対象>

- 小～大規模まで様々な規模の自治体 20程度
- 小中学校あわせて500校程度 (児童生徒数は約5万人)

<主な試行・検証事項>

- ①大規模調査の実施に必要なネットワーク環境やサーバの負荷等
- ②大規模調査特有のシステム機能 (監督、採点・集計、結果返却機能等)
- ③学校支援方策の実施・検討 (技術的なトラブルへの対応の支援等)
- ④児童生徒の端末操作にかかる状況
- ⑤特別な配慮が必要な児童生徒への対応 等



[令和3年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査における端末を活用したオンラインによる実施の様子 代表撮影]

○問題開発等 国立教育政策研究所: 令和4年度要求・要望額 399百万円
(前年度予算額 40百万円)

CBTの導入に向けた問題開発等を着実に進めるとともに、CBTの特性を活かした測定の在り方や先進的技術の活用に係るフイージビリティ等について、内外の研究者や教育委員会・学校等の協力を得て研究開発を推進。
※教育課程研究センターと教育データサイエンスセンターとの連携のもと実施

<主な取組事項>

- ①CBTの導入に向けた問題開発等
 - ・問題素材収集、新規問題作成
 - ・出題内容、PBT(※)との比較による解答状況等の検証
 - ・開発した問題に係る統計的分析
 - ・特別な配慮が必要な児童生徒に対応した問題の開発 等
(※)PBT(Paper Based Testing): 筆記型調査
- ②CBTの特性を活かした測定、分析・活用に関する調査研究
 - ・CBTの特性を活かした測定に関する調査研究
例) PBTに比べて多様な能力を幅広くかつ的確に測る問題の研究開発 等
 - ・CBTの特性を踏まえた先進的技術の活用に係るフイージビリティに関する調査研究
例) 自動採点技術の活用に係るフイージビリティ、解答ログ分析の在り方等

文部科学省CBTシステム(MEXCBT：メクビット)の活用に関する説明会

内容

- (1) MEXCBT（機能拡充版）の概要および活用について
- (2) 学習eポータルについて
- (3) MEXCBT(機能拡充版)の申し込み手続き等について
- (4) 全国学力・学習状況調査のCBT化について
- (5) 地方自治体の学力調査等のCBT化検討の推進について

地方学調等のC B T化検討研究会を開始します！

1. 目的

G I G Aスクール構想を踏まえ、地方自治体が学力・学習状況調査等の測定・アセスメントのコンピュータによる実施（C B T）化に関心を持つ地方自治体が増加していることから、文部科学省及び地方自治体間の意見交換や検討を行う研究会を行う。

2. 対象

小学校・中学校・高等学校等を対象とした学力調査等のC B T化を検討中又は興味・関心を持っている都道府県・市区町村教育委員会

3. 内容

- (1) 各自治体の地方学調C B Tの取組状況・課題の共有
- (2) 地方学調C B Tにおいて自治体間で連携・協働できる部分の検討
 - ・文部科学省が開発・運営するC B Tシステム（M E X C B T）の利活用
 - ・I R T・パネル型C B Tの開発・運用等

4. スケジュール

令和3年11月中に第1回開催予定。以後、月1回程度の開催を想定（基本はオンライン開催を想定）

第1回検討研究会に参加をご希望の方は、11月19日（金）までに下記宛先にご連絡ください。
また、ご不明な点等がありましたら以下宛先まで、お気軽にお問合せください。

文科省・教育DX推進室 kyoikudx@mext.go.jp

ありがとうございました。



MEXCBTに関する情報は、随時以下HPに掲載する予定です。

本日の動画も、改めて周知いたします。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00001.html



- MEXCBT(機能拡充版)を活用したい【新規募集 (11/1~)】
→公募ページ <https://www.r3request.mexcbt.mext.go.jp>から応募
(パスワードは10/15の事務連絡をご参照ください)
- 地方自治体の学力調査等のC B T化検討研究会に関心がある【新規募集 (11/1~)】
→文科省・教育DX推進室 kyoikudx@mext.go.jpに連絡
- MEXCBT(機能拡充版)に地方自治体等が作成した学力調査等の問題を掲載したい【引き続き募集】
→文科省・教育DX推進室 kyoikudx@mext.go.jpに連絡



この後、同じ視聴URLにおいて、教育関係事業者等から構成される（一社）ICT CONNECT 21 学習eポータルサブワーキンググループ主催により、学習eポータルの説明会を開催いたします。学習eポータルについて知りたい方は、引き続きご参加いただきますよう、お願いいたします。